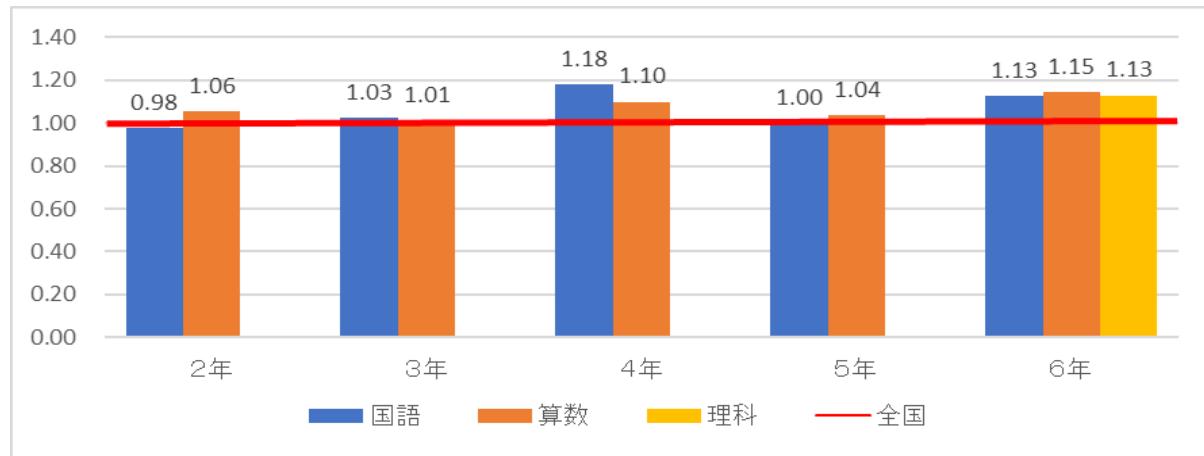


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 友呂岐中学校区 石津小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	概ね全国平均値を上回っており、良好な状況であると言える。漢字の書き取りや文法や言葉に関する問題に課題が見られた。言葉に関する知識・技能の確実な定着を図っていく。
	算数	全ての学年で全国平均値を上回っており、良好な状況であると言える。図形領域に課題が見られたので、図形を並べたり、作図したりする体験的な活動を大切にして改善を図っていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	記述式の問い合わせで全国平均を上回っているが、条件に見合った文章作りに苦手意識のある児童は多くいることが再確認できた。作文指導を通して、自分の考えや思いを適切に表現できるように指導内容の改善を図っていく。
	算数	全領域において、全国平均を上回っているが、「図形」領域において他領域に比べると課題が見られる。市到達度調査でも同じような傾向が見られることから、「図形」領域の指導について系統性を再確認し、指導内容の改善を図っていく。
	理科	資料の読み解き力に課題が見られた。教科書に掲載されている内容をしっかりと読んで理解させたり、実験や観察のまとめを作成させたりする等の活動を大切にしていくことで改善を図る。
	質問紙	「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対する最も肯定的な回答が府や全国に比べるとやや低い状況にあった。道徳や特別活動を通して、自尊感情を更に高めていくように努める。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

校区小中一貫教育推進部会において、それぞれの部会で成果と課題を明確化して、共通した目標のもと、考える力の育成を軸として一層の授業改善を図る。また校区で協働して、小学校低学年期から、ディベート教育の充実に向けて取り組んでいく。

【 学 校 】

研究教科を「算数科」とし、自分の考えを数学的に表現する力の育成に取り組んできており、一定の成果を挙げてきている。更なる深まりをめざし、教科としての系統性や言葉の力の育成、基礎・基本の確実な定着に取り組んでいく。